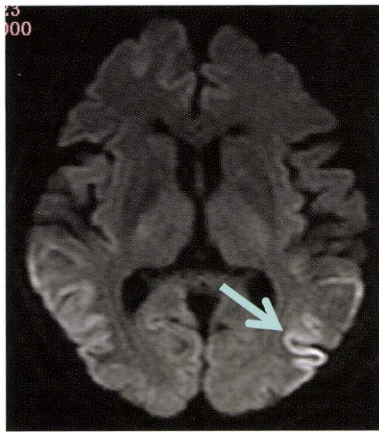


オートプシーイメージング(Ai)とプリオン病

研究分担者：(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター神経病理学研究)(高尾 昌樹)



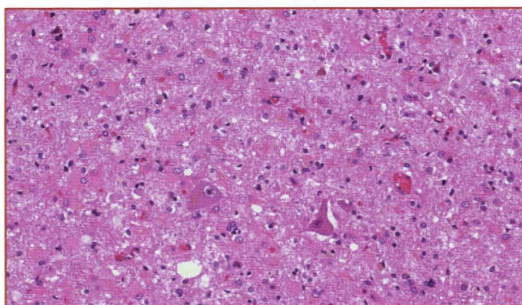
クロイツフェルト・ヤコブ病の診断？

MRI拡散強調画像高信号が重要

病理学的背景は不明

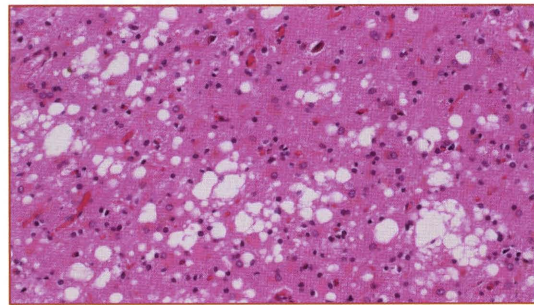
Aiを応用して、画像と病理を直接対比

拡散強調高信号部位



空胞変性が軽い

拡散強調等信号部位



空胞変性が強い

解説

1. CJDにおける臨床診断で、MRI拡散強調画像高信号は重要
2. 病理学的背景は明らかでない。過去の研究はMRIと剖検までの時間に関与があるため、直接の比較はできていない。
3. 現在医療分野で広く注目されるAiにより、MRI病理を直接比較する
4. 従来との報告と異なり、軽微(初期)のCJD病変が、拡散強調画像の高信号に関与している可能性→一つの研究ツールとしての応用

